

# くすりのしおり

注射剤

2015年11月作成

薬には効果（ベネフィット）だけでなく副作用（リスク）があります。副作用をなるべく抑え、効果を最大限に引き出すことが大切です。そのために、この薬を使用される患者さんの理解と協力が必要です。

**商品名：ハプトグロビン静注 2000 単位「JB」**

**主成分：**人ハプトグロビン(Human haptoglobin)

**剤形：**注射剤

**シート記載：**



**この薬の作用と効果について**

熱傷・やけど、輸血、心臓手術などの時に赤血球が壊れて生じたヘモグロビンと複合体を作り、ヘモグロビンを正常な代謝経路である肝臓に運びます。

通常、ヘモグロビン血症、ヘモグロビン尿症の治療に用いられます。

**次のような方は使う前に必ず担当の医師と薬剤師に伝えてください。**

- ・以前に薬を使用して、かゆみ、発疹などのアレルギー症状が出たことがある。人ハプトグロビン製剤を使用した後でショックを起こした既往歴がある。ハプトグロビン欠損症、IgA 欠損症、肝障害、溶血性・失血性貧血、免疫不全・免疫抑制状態がある。
- ・妊娠または授乳中
- ・他に薬などを使っている（お互いに作用を強めたり、弱めたりする可能性もありますので、他に使用中の一般用医薬品や食品も含めて注意してください）。

**用法・用量（この薬の使い方）**

- ・あなたの用法・用量は<<< :医療担当者記入>>>
- ・通常、ゆっくり静脈内に点滴で注射、または体外循環時に使うときは灌流液中に使用します。
- ・使用期間については、担当の医師にお聞きください。

**生活上の注意**

**この薬を使ったあと気をつけていただくこと（副作用）**

副作用として、血圧低下、嘔吐、発疹、じんま疹などが報告されています。このような症状に気づいたら、担当の医師または薬剤師に相談してください。

まれに下記のような症状があらわれ、[ ]内に示した副作用の初期症状である可能性があります。

このような場合には、使用をやめて、すぐに医師の診療を受けてください。

- ・呼吸困難、喘鳴（ヒューヒュー音）、胸内苦悶 [ショック、アナフィラキシー]

以上の副作用はすべてを記載したものではありません。上記以外でも気になる症状が出た場合は、医師または薬剤師に相談してください。

**保管方法 その他**

- ・この薬は、日本で採血された血液が原料となっています。血液を原料とした製剤であることから、ウイルスを不活化するための加熱処理やウイルスを取り除く処理を行っており、現在までにこの注射によるウイルス感染は確認されていません。しかしながら、血液を原料としていることによるウイルス感染などの可能性を完全に否定することはできません。

**医療担当者記入欄**

年 月 日

より詳細な情報を望まれる場合は、担当の医師または薬剤師におたずねください。また、医療専門家向けの「添付文書情報」が医薬品医療機器総合機構のホームページに掲載されています。